

人間社会学部におけるキャリア女性学副専攻の経緯と現状

小林 多寿子

人間社会学部では 2002 年度より副専攻制度を設けた。副専攻とは、人間社会学部の 5 つの学科で学ぶ主専攻以外に 3 つの副専攻コースを開設し、キャリアプランに直結する実学的なプログラムの提供を狙いとするものである。この副専攻制度は、2006 年に「キャリア女性学副専攻」としてリニューアルの検討がはじまった。その目的は、現代女性がおかれた社会環境の急速な変化とそのグローバルな変動状況をジェンダーの視点から学び、女性のライフコースの多様化に沿った多面的な問題解決能力を高めるためのプログラムに再編することにあった。そこで、「現代の女性高等教育ニーズに応じた多領域横断型副専攻プログラムの再編成」というテーマで大学教育高度化推進特別経費補助金と学内の特別重点化資金を得て、現代の女性高等教育ニーズに応じた多領域横断型プログラムへの再編成を試みた。その際、女子大学としての特性を十二分に活かし、現代の高学歴女性のキャリア形成の変化もふまえてコースの一層の質的な向上を図ることを志した。

実際のリニューアルにあたっては、既設の副専攻制度での履修状況や学生の授業評価を精査し、問題点を洗い出して具体的な改善策を考えた。また新たなプログラム開発のために本学卒業生の動向や生涯学習状況を把握し、現代の女性高等教育ニーズも検討した。アジア諸国、とくに本学が学術交流関係をもつ中国の中華女子学院と韓国の梨花女子大学での専攻制度や女性学の実態を調査し、アジア女性学の視点をとりいれて、現代女性のキャリア形成とライフコースの多様化を踏まえた副専攻プログラムの開発に取り組んだ。

2007 年度より、現代女性のライフコースをふまえたキャリア形成に資することをめざす副専攻として「キャリア女性学副専攻」を実施することになった。再編成の要点として、1) 現行の三つの副専攻を 3 つのコースとする、2) 3 つのコースにキャリア女性学副専攻共通のコア科目群を設置する、3) キャリア形成科目との相互乗り入れを検討する、という三点があげられる。

キャリア女性学副専攻の特徴は、第一に、既設の副専攻制度を活かして、①地域・行政コース、②国際活動コース、③情報技術コースという 3 コースのいずれかを選択して履修することである。地域・行政コースはたとえば公務員やさまざまな地域活動で活躍するためのおもに経済や法律、行政などの科目を学ぶ。情報メディアコースは、たとえばコンピュータを駆使する領域をめざすために、おもに情報技術や情報メディアの実態を学ぶ。国際活動コースは、たとえば外国語を活かした仕事をめざすために、

おもに外国語やさまざまな国の文化や歴史を学ぶ。各コースでは具体的なキャリア形成の基礎となるようなベーシックな授業科目を選択するとともに、キャリアプランに直結する実学的な授業科目として地域活動講座、国際活動講座、「コンピュータラゼーションと現代の諸問題」という実践的な授業を必修科目として配置している。

第二の特徴は、3つのコースに共通のキャリア女性学コア科目を設け、いずれのコースを選択しても女性のライフコースを基盤としたキャリア設計に役立つことをめざしている。キャリア女性学コア科目とは、現代女性の生き方を考えるためにライフコースと女性の生き方や現代の家族事情を知る科目、現代社会での働き方を考えるために労働事情を知りキャリアデザインを考える科目、さまざまなビジネスやキャリアのありかたを知るために女性たちの仕事の実際を知る科目、キャリア女性をめぐる問題と解決法の実際を知るために具体的な労働の場における諸問題と法律を学ぶ科目から成る。具体的には、キャリア形成科目群・キャリア制度科目群・ビジネス系科目群・ライフコース系科目群という4つの科目群として複数の科目を配置している。

学生に履修を呼びかけたキャリア女性学副専攻のリーフレットではつぎのように謳っている。

「人間社会学部の〈キャリア女性学〉は、現代女性の生涯を視野にいれたキャリアを形成するために必要な知識や現状を学ぶことをめざしています。女性たちのさまざまな職業を知り、生き方や働き方を知り、結婚や子育てを含めたライフコースの多様性を理解し、現代女性が生き生きとした人生を設計することを応援します。」

キャリア女性学副専攻は、3年目を迎えた2009年4月に履修状況を調査した(表参照)。その結果、3年次は総計182名、在籍者数の33.2%、2年次は総計189名、在籍者数の37.4%が副専攻のいずれかのコースを履修していることがあきらかになっている。キャリア女性学副専攻では、2年次のはじめに登録し、3年次に所定の単位が取得されていると、4年次に単位修得証明書を発行しており、その証明書が就職活動に役立つように配慮されている。キャリア女性学副専攻の最初の履修者が副専攻修了証書を授与されるのは2011年3月の卒業時であるが、卒業していく学生にとってキャリア女性学副専攻がどのようなものであったか、今後、授業評価や学生へのヒアリングを通して問題点をとらえる予定である。キャリア女性学は本学学生たちが現代女性として自らの「経歴」をより豊かに形成するために必要な知識や現状を学び、あわせて専門的職業についても幅広く知ることに資するようヴァージョンアップを続けていきたい。

2年次	現社	社福	教育	心理	文化	計
地域・行政コース	28	18	12	10	11	79
国際活動コース	20	5	6	7	39	77
情報メディアコース	12	4	6	4	7	33
計	60	27	24	21	57	189

在籍者数	108	79	107	79	133	506
在籍者に対する履修者数割合	55.6%	34.2%	22.4%	26.6%	42.9%	37.4%

3年次	現社	社福	教育	心理	文化	計
地域・行政コース	20	40	17	4	2	83
国際活動コース	17	3	8	8	39	75
情報メディアコース	6	4	2	7	5	24
計	43	47	27	19	46	182

在籍者数	112	125	121	69	121	548
在籍者に対する履修者数割合	38.4%	37.6%	22.3%	27.5%	38.0%	33.2%

表 人間社会学部キャリア女性学副専攻履修状況 2009年4月

西生田学務課作成

(こばやし たずこ 人間社会学部現代社会学科教授)